

開講年度：2026

科目名	精神 Psychiatry	題目（副題）	精神医学
担当教員、教員連絡先内線	鷲塚 伸介 他 5262		
学年、講義期間、曜日・時限	3年次	後期（随時）	火曜・2時限 火曜・3時限 水曜・4時限 水曜・5時限 水曜・6時限 木曜・4時限 木曜・5時限 金曜・2時限 金曜・3時限
単位数、講義室	1. 50単位	医学科第2臨床講堂	遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄ 授業達成目標		
	M21カリ・医学		
	患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して、適確に判断し、必要な行動ができる。	⇄	人間は身体的存在であるとともに、心理的、社会的、実存的な存在であることを認識する必要がある。その認識の方法としては、自然科学的、生物学的方法だけでなく、心理学的方法や、その人の置かれた社会的状況など多様な観点からの評価を用いることが必要になる。人に対するこれら多様な認識の仕方について知識を深めるとともに、その有用性と限界についても理解することが授業の達成目標である。
	疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。	⇄	精神医学は、人が精神的に健康か病的かという問題に答えていかねばならない。そして、病的であると判断されれば、身体的健康の回復だけでなく、患者の心理的、社会的存在としての機能を回復することまでが求められる。しかし、客観的に数値化できる所見が得られにくいゆえに、診断や治療には個人の主観や社会的価値基準の影響を完全に排除することが難しいことをよく認識しておく必要がある。このような限界があるなかで正確な診断や治療を行うためには、専門領域はいうまでもなく関連する多様な学問領域の基礎についても理解していることが必要で、それらを修得することが授業の達成目標である。
	M26カリ・医学, M25カリ・医学, M24カリ・医学, M23カリ・医学, M22カリ・医学		
	〈基礎的・専門的な知識と技能〉疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。	⇄	精神医学も医学の一領域である以上、基礎医学および臨床医学の知識は当然身につけておくべきであることはもちろん、心理学、行動科学、必要な法律知識など人文・社会科学領域にも通じていることが必要で、それらを総合的に把握運用して、適切な診断・治療ができる力を身につけることが授業の達成目標である。
	〈問題解決力〉患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して適切に判断し必要な行動ができる。	⇄	精神ないし心を対象とする以上、可視化し客観的に評価できる領域は限定され、患者の状態を把握する際に主観が入ることは避けられない。そのことを十分意識したうえで、科学的評価に耐えうる話の聞き方、表出の捉え方、症状把握の仕方を身につけるとともに、現在実施されている諸検査も合わせて判断し、患者にとって最適な対応ができるようになることが授業の達成目標である。
臨床実習前の到達目標	・医学・医療の歴史的な流れ、臨床推論や生と死に係る倫理的問題、各種倫理に関する規範を概説できる。 ・患者の基本的権利、自己決定権の意義、患者の価値観、インフォームドコンセントなどの意義と必要性を説明できる。 ・患者のプライバシーに配慮し、守秘義務の重要性を説明できる。 ・必要な課題を発見し、他の学習者や教員と協力してより良い具体的な解決方法を見出すことができる。 ・講義、教科書、検索情報などを基に、自らの考えを示すことができる。 ・必要最低限の病歴を聴取し、基本的な身体診察を行うことができる。 ・適切な態度で診断治療を行うことができる。 ・コミュニケーションの方法と技能およびその及ぼす影響を概説できる。 ・良好な人間関係を築くことができる。 ・患者・家族に共感することの重要性について概説できる。 ・チーム医療の意義を説明できる。 ・チーム医療における医師の役割を説明できる。		
授業で学べる「テーマ」	健康長寿		
全学横断特別教育プログラム			
授業のキーワード	精神医学, 精神病理学, 精神科症候学, 精神科診断学, 精神科治療学, 社会精神医学, 精神病理学, 精神薬理学, 児童精神医学, 老年期精神医学, 精神科リハビリテーション, 精神保健福祉法 実務経験のある教員による授業科目		
授業の概要・一般目標	PS-02-17-01 脳とこころの働きについて基本的事項を理解している。 PS-02-17-02 精神系でみられる症候について理解している。 PS-02-17-03 精神系で行う検査方法について基本的事項を理解している。 PS-02-17-04 精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。 PS-02-17-05 精神系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。		

テキスト，教材，参考書	参考書 「現代臨床精神医学」（改訂第12版），大熊輝雄著，金原出版，2013. 「精神医学入門」（第25版），西丸四方・西丸甫夫共著，南山堂，2006.
履修上の注意	講義の途中で席を立たないこと。 携帯電話の電源を切ること。
授業の形式，視聴覚機器等の活用	講義形式、スライド、場合によりビデオ。 適宜プリントを配布する。
成績評価の方法	中間試験30%、期末試験65%、濱田特別講師のレポートを5%として扱い、合計したものを最終評点とする。合計が60%未満は不可とする。 試験では、本授業の学修目標への到達度および今後に必要な知識が定着しているかを確認します。
成績評価の基準	90－100点：秀　80－89点：優　70－79点：良　60－69点：可 全ての回に出席することを基本とします。この授業の達成目標に到達するために必要な出席回数（およそ8割程度）に出席が満たない場合は、単位を認めない場合があります。欠席した場合の学修補充については、医学部医学科履修及び試験内規に従います。
事前事後学習の内容	教科書の該当範囲を予習しておくこと。 課題については、授業中、指示をする 本授業の単位修得には26時間分の時間外学習が必要です。
学生へのメッセージ並びにオフィスアワー（質問，相談への対応）	精神医学の素養は、将来どの科に進むにしても必要とされるので、精神医学的な見方および考え方をしっかり身につけてほしい。 オフィスアワー：火曜日　12：00～13：00

授業日	第 1 回	10月20日(火 2)	SB0s	PS-02-17-01 脳とこころの働きについて基本的事項を理解し説明できる。 PS-02-17-02 精神系でみられる症候について理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	精神医学序論 正常と異常 精神科症候学について理解する。			
担当	鷺塚 伸介			
授業日	第 2 回	10月20日(火 3)	SB0s	PS-02-17-02 精神系でみられる症候について理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	精神症状Ⅰ 精神科症候学について理解する。			
担当	鷺塚 伸介			
授業日	第 3 回	10月21日(水 4)	SB0s	PS-02-17-02 精神系でみられる症候について理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	精神症状Ⅱ 精神科症候学について理解する。			
担当	鷺塚 伸介			
授業日	第 4 回	10月21日(水 5)	SB0s	PS-02-17-05 精神系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解し説明できる。 ○精神科診断分類法を説明できる。 ○病因に関する外因・内因・心因の考え方を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	精神疾患の成因と分類 精神疾患の成因と分類を学ぶ。			
担当	鷺塚 伸介			
授業日	第 5 回	10月21日(水 6)	SB0s	PS-02-17-03 精神系で行う検査方法について基本的事項を理解し説明できる。 PS-02-17-05 精神系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解し説明できる。 ○心理学的検査法（質問紙法、Rorschach テスト、簡易精神症状評価尺度(Brief Psychiatric Rating Scale <BPRS>）、Hamilton うつ病評価尺度、Beck のうつ病自己評価尺度、状態特性不安検査(State-Trait Anxiety Inventory <STAI>）、Mini-Mental State Examination <MMSE>、改訂長谷川式簡易知能評価スケール等）の種類と概要を説明できる。 ○患者-医師の良好な信頼関係に基づく精神科面接の基本を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	精神科診察法と検査 精神科診察の基本と心理学的検査法の種類と概要を理解する。			
担当	鷺塚 伸介			
授業日	第 6 回	10月23日(金 2)	SB0s	PS-02-17-05 精神系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	統合失調スペクトラム症及びその他の精神症群Ⅰ 統合失調症の成因、疫学、症状、診断について学ぶ。			
担当	高橋 徹			
授業日	第 7 回	10月23日(金 3)	SB0s	PS-02-17-04 精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解し説明できる。 PS-02-17-05 精神系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	統合失調スペクトラム症及びその他の精神症群Ⅱ 統合失調症の治療、経過と予後について学ぶ。			
担当	高橋 徹			
授業日	第 8 回	10月27日(火 2)	SB0s	PS-02-17-05 精神系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解し説明できる。 ○不安・抑うつをきたす精神障害を列挙し、その鑑別診断を説明できる。 ○幻覚・妄想をきたす精神障害を列挙し、その鑑別診断を説明できる。 ○老年期精神障害に対する治療並びに社会における対応について理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	老年期精神障害・器質性精神障害Ⅰ（神経認知障害群Ⅰ） 老年期に多い精神障害の特徴と認知症について学ぶ。			
担当	萩原 朋美			
授業日	第 9 回	10月27日(火 3)	SB0s	PS-02-17-04 精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解し説明できる。 PS-02-17-05 精神系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解し説明できる。 ○意識障害をきたす精神障害を列挙し、その鑑別診断を説明できる。 ○せん妄について、症状の特徴及び意識や注意を維持するシステムの障害との関連を理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	器質性精神障害Ⅱ（神経認知障害群Ⅱ） 症状性を含む器質性精神障害を理解する。			
担当	萩原 朋美			

授業日	第 10 回	10月28日(水 4)	SB0s	PS-02-17-04 精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解し説明できる。 PS-02-17-05 精神系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	抑うつ症群 抑うつ症の成因、疫学、症状、診断、治療、経過と予後について学ぶ。			
担当	鷺塚 伸介			
授業日	第 11 回	10月28日(水 5)	SB0s	PS-02-17-04 精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解し説明できる。 PS-02-17-05 精神系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	双極症及び関連症群 双極症の成因、疫学、症状、診断、治療、経過と予後について学ぶ。			
担当	鷺塚 伸介			
授業日	第 12 回	10月28日(水 6)	SB0s	PS-02-17-04 精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解し説明できる。 PS-02-17-05 精神系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解し説明できる。 ○依存症の治療プログラムと自助グループを理解し説明できる。 ○わが国の依存症の現況を理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	物質関連症及び嗜癖症群 物質・ギャンブルへの依存や、それに付随する精神障害を理解する。			
担当	中村 敏範			
授業日	第 13 回	10月29日(木 4)	SB0s	PS-02-17-04 精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解し説明できる。 PS-02-17-05 精神系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	不安症・強迫症及び関連症群 不安症と強迫症の概念と治療について学ぶ。			
担当	萩原 徹也			
授業日	第 14 回	10月29日(木 5)	SB0s	PS-02-17-04 精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解し説明できる。 PS-02-17-05 精神系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解し説明できる。 ○ストレスなどの心理社会的要因が症候（息苦しさ、心窩部痛、頭痛、腹痛、疲労、疼痛等）に密接に関与している代表的な疾患を列挙し、鑑別診断を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	心的外傷及びストレス因関連症群・解離症群・身体症状症及び関連症群 ストレス因関連障害・解離症・身体症状症の概念と治療について学ぶ。			
担当	萩原 徹也			
授業日	第 15 回	11月 4日(水 4)	SB0s	
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	中間試験			
担当	鷺塚 伸介			
授業日	第 16 回	11月 4日(水 5)	SB0s	
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	自習			
担当	鷺塚 伸介			
授業日	第 17 回	11月 4日(水 6)	SB0s	
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	自習			
担当	鷺塚 伸介			
授業日	第 18 回	11月 5日(木 4)	SB0s	PS-02-17-04 精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解し説明できる。 PS-02-17-05 精神系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	パーソナリティ症群 パーソナリティ症群の概念と治療について学ぶ。			
担当	篠山 大明			
授業日	第 19 回	11月 5日(木 5)	SB0s	PS-02-17-04 精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解し説明できる。 PS-02-17-05 精神系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
G10	睡眠・覚醒障害群 睡眠・覚醒障害群の概念と治療について学ぶ。			
担当	荒井 勇輔			

授業日	第 20 回	11月 6日(金 2)	SB0s	PS-02-17-04 精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解し説明できる。 PS-02-17-05 精神系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	コンサルテーションリエゾン精神医学 コンサルテーション・リエゾン精神医学の概要について学ぶ。			○コンサルテーション・リエゾン精神医学を理解し、医療機関の中でどのように活動しているか説明できる。
担当	中村 敏範			
授業日	第 21 回	11月 6日(金 3)	SB0s	PS-02-17-04 精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解し説明できる。 PS-02-17-05 精神系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	カタトニア 多くの精神疾患でみられるカタトニア症候群について学ぶ。			○カタトニアの概念について理解し、説明できる。
担当	萩原 徹也			
授業日	第 22 回	11月10日(火 2)	SB0s	PS-02-17-04 精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解し説明できる。 PS-02-17-05 精神系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	周産期の精神障害 周産期にみられる精神障害の概要について学ぶ。			○周産期にみられる代表的な精神障害について理解し説明できる。
担当	村上 寛			
授業日	第 23 回	11月10日(火 3)	SB0s	PS-02-17-04 精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解し説明できる。 PS-02-17-05 精神系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	食行動症及び摂食症群 摂食症の概念と治療について学ぶ。			○摂食症と家族関係、社会文化的背景との関連について理解し説明できる。 ○摂食症の病因、精神病理について理解し説明できる。
担当	公家 里依			
授業日	第 24 回	11月11日(水 4)	SB0s	PS-02-17-04 精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解し説明できる。 PS-02-17-05 精神系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	小児期・思春期・青年期の精神障害 小児期から青年期にみられる精神疾患について学ぶ。			○小児期から青年期にみられる精神障害の病態について理解し、説明できる。 ○小児期青年期精神障害に対する治療、ならびに学校・社会における対応について理解し、説明できる。
担当	本田 秀夫			
授業日	第 25 回	11月11日(水 5)	SB0s	PS-02-17-04 精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解し説明できる。 PS-02-17-05 精神系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	神経発達障害群I 自閉スペクトラム症を中心に神経発達症群の概念と対応について学ぶ。			
担当	本田 秀夫			
授業日	第 26 回	11月11日(水 6)	SB0s	PS-02-17-04 精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解し説明できる。 PS-02-17-05 精神系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	神経発達症群II 注意欠如多動症を中心に神経発達症群の概念と対応について学ぶ。			
担当	本田 秀夫			
授業日	第 27 回	11月12日(木 4)	SB0s	PS-02-17-04 精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	精神科薬物療法 精神科薬物療法の実際を学ぶ。			○精神科で行われる薬物療法の概要について説明できる。
担当	吉澤 智也			
授業日	第 28 回	11月12日(木 5)	SB0s	PS-02-17-04 精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	精神科リハビリテーション 精神科治療におけるリハビリテーションの概念と実践について学ぶ。			○精神科リハビリテーションの理論とモデルについて理解し、説明できる。 ○精神科リハビリテーションの入院治療から地域生活支援までの流れを理解し、説明できる。
担当	田中 佐千恵			
授業日	第 29 回	11月17日(火 2)	SB0s	PS-02-17-04 精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	法と精神医療 精神保健福祉法の概念を理解するとともに、医の倫理について考える。			○精神科医療の法と倫理に関する必須項目（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、心神喪失者等医療観察法、インフォームド・コンセント）を説明できる。 ○精神保健福祉法に基づく入院形態について理解し説明できる。 ○精神保健福祉法に基づく入院患者の処遇について理解し説明できる。
担当	鷲塚 伸介			

授業日	第 30 回	11月17日(火3)	SB0s	PS-02-17-02 精神系でみられる症候について理解し説明できる。 PS-02-17-04 精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解し説明できる。 PS-02-17-05 精神系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解し説明できる。 ○臨床精神医学におけるリジリアンス、スピリチュアル・ケアについて説明できる。 ○層理論の考え方を説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	人間学としての精神医学 人間の病としての精神病とは何か、人間全体をみる精神医学の臨床とはどうあるべきかについて考える。ジャクソン、エー、ラボリ、フランクル、シェーラー、オスラーらの思想を学び、層理論、器質力動説、侵襲学、人間学のみかたを理解する。精神医学における霊性（スピリチュアリティ）について理解を深める。			
担当	濱田 秀伯 特別講師			
授業日	第 31 回	11月18日(水4)	SB0s	PS-02-17-04 精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	精神科で行われる心理・社会的治療 精神科治療の根底をなす心理社会的治療について学ぶ。			
担当	公家 里依			
授業日	第 32 回	11月18日(水5)	SB0s	PS-02-17-04 精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解し説明できる。 ○地域で実践する精神医療について理解し説明できる。 ○地域で患者を支える多職種連携の仕組みについて理解し説明できる。
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	地域精神医療 地域精神医療の概念と実践について学ぶ ○授業のふりかえりを入力する			
担当	鈴木 一浩			
授業日	第 33 回	11月18日(水6)	SB0s	
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	自習			
担当	鷺塚 伸介			
授業日	第 34 回	11月24日(火2)	SB0s	
講義室	医学科第2臨床講堂			
GI0	期末試験			
担当	鷺塚 伸介			